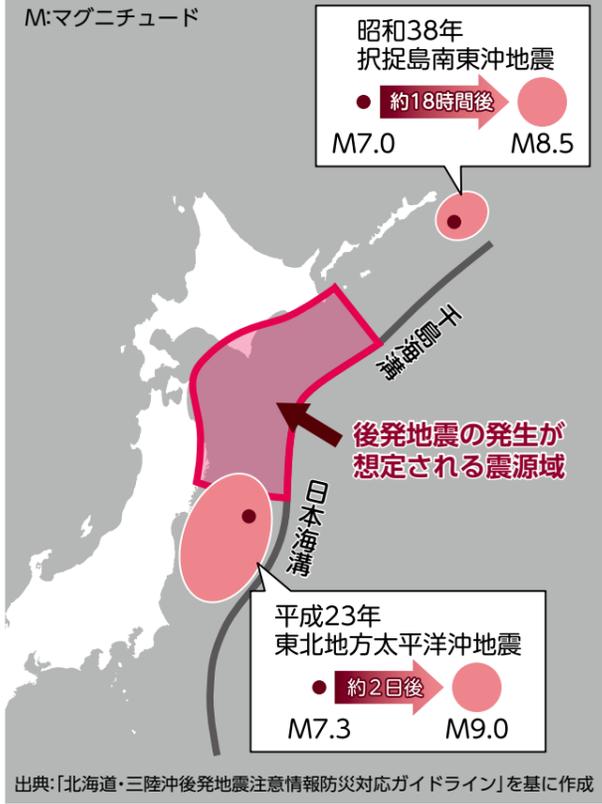


[前例と後発地震の想定震源域]



出典:「北海道・三陸沖後発地震注意情報防災対応ガイドライン」を基に作成

北日本・東日本の太平洋側には、千島海溝と日本海溝があり、周辺では大きな地震がたびたび発生しています。過去にはマグニチュード7級の地震発生後、同じ領域でマグニチュード8以上の巨大地震が発生した事例があります。その場合は先の地震を「先発地震」、後の地震を「後発地震」と呼んでいます。東北地方太平洋沖地震もその一つです。

実際に後発地震が発生する確率は100回に1回程度と低いものの、いざという時に一人でも多くの命が守られなければなりません。国では、令和4年12月16日に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を開始しました。避難行動を求める警報ではなく、地震発生後おおむね1週間を目安に、気象庁が備えの強化を呼びかけます。令和7年12月8日、青森県東方沖を震源とする最大震度6強を観測した地震が発生し、運用開始以来、初めて注意情報が発表されました。この発表を受けて、日頃の備えの確認ができた人も多いのではないのでしょうか。尊い命を守るため、普段通りの生活をしながら、「もしも」の時に備えましょう。

教訓を生かして

の命が守られなければなりません。



震災を知らない世代へ、命の学び

1月21日、古川第五小学校の4年生が総合的な学習の時間で、防災学習「チカラモチ」に取り組みました。学校支援コーディネーターの波多野 ゆか 氏と製粉会社 菅原商店の菅原 啓子 氏を講師に迎え、「食べることは、生きること」をテーマに、アルファ化米粉に水を加えて揉むだけでできる「チカラモチ」を作り、試食を行いました。また、写真を使った東日本大震災の被害状況の説明や、学校支援ボランティアによる震災を経験した子どもたちの詩の朗読があり、当時の悲惨な状況に驚きながらも真剣な表情で聞き入っていました。児童は、災害時に電気やガスを使うことができなくても、食糧が自分や家族の命を守る行動につながることで、一人の時にも自分で考えて行動できるように、家庭での日頃の備えが大切であることを体験を通して学びました。



▲簡単にできた非常食「チカラモチ」を試食する児童

**3月11日に黙とうを呼びかけます**

3月11日(水)は、東日本大震災で亡くなった人を追悼し、震災からの復興を誓う「みやぎ鎮魂の日」です。震災から15年となるみやぎ鎮魂の日は、心を一つにして、黙とうをささげましょう。

日時 3月11日(水) 14時46分  
※放送開始時間は、14時45分です。  
放送範囲 市内全域  
伝達手段 防災行政無線  
問 総務課総務担当 ☎23-5195

経験した震災の記憶を風化させることなく、次世代へつなぎ、命を守るための「備え」にしましょう。

記憶を、未来へ

東日本大震災から15年。あの日の出来事を実感する機会が減り、震災の記憶は少しずつ薄れてきています。それでも、災害に備えることの大切さや、いつもの生活が当たり前ではないことを次の世代に伝え続けていかなければなりません。

- 写真**
- ① 激しい揺れにより切り裂かれた古川地域江合橋付近の市道
  - ② 倒壊した旧有備館主屋
  - ③ 田尻地域の倒壊した家屋
  - ④ 卒業式を控えた小学校体育館を避難所として利用
  - ⑤ 姉妹都市・愛媛県宇和島市からの救援物資
  - ⑥ 婦人防火クラブ(現・女性防火クラブ)による炊き出し

**内陸部最大規模の被災地**  
— 日常が止まった —

平成23年3月11日、午後2時46分、マグニチュード9.0の地震「東北地方太平洋沖地震」の発生に伴う東日本大震災が、私たちの日常を一変させました。

震度6強の激しい揺れを観測した本市では、市内外で18人の市民の尊い命が奪われ、200人以上の人が重軽傷を負いました。また約3千棟の住家が全半壊したほか、公共施設、道路、学校、文化財、店舗などが甚大な被害を受けました。さらに地震発生直後から電気や水道などのライフラインが停止した影響で、一時期は1万1千人以上が避難所生活を余儀なくされました。

当たり前の生活が止まったまま復旧のめどが立たず、長きにわたる多くの市民が不安な時間を過ごしたのです。

大きな被害はありませんでしたが、結果としてさらに大きな地震が発生する「前ぶれ」となりました。このように巨大地震は、突然一度きりで起きるとは限りません。

大きな地震は2日前にも

2日前の3月9日、三陸沖を震源とするマグニチュード7.3の「三陸沖地震」が発生しました。県内では美里町や登米市などで最大震度5弱、本市は震度4を観測しました。

**大崎市の被害状況**

<b>人的被害</b>		<b>住宅被害</b>	
死亡	18人(うち11人が市外で死亡)	全壊	596棟
重傷者	79人	半壊	2,434棟
		一部損壊	9,138棟
<b>ライフライン</b>			
種類	3月11日の本震(震度6強)	復旧日	再復旧日
電気		3月21日	4月9日
水道		3月31日	4月15日
		4月7日の余震(震度6弱)	